

## 温泉郷に新風を吹き込む

### 複合型商業施設「May's」の建設が着工

(株)クレセント(大坊千文代表取締役)は10月14日、八幡平温泉郷にレストランなどが入る複合型商業施設「May's(仮称)」の地鎮祭を行い、参加した関係者ら約30人が工事の安全を祈念しました。

森乃湯近くの小高い丘に建てられるメイズは、延べ床面積約400平方メートルの木造平屋で、総事業費は約3億円。令和2年度経産省の商店街活性化観光消費創出事業を活用します。来春完成予定で、メインのレストランのほかキッチンスタジオ、ショップなどを設け、宿泊機能は有しません。

食の多様化を提供することで、温泉郷に新しいにぎわいを生み出そうと、地元ホテル関係者と八幡平DMOでつくる八幡平観光地域づくり協議会と共同で企画。ホテル以外での食事を望んでいる長期滞在の訪日外国人旅行者に対応し、レストランを手始めに泊食分離を進め、エリア内での人の流れを活性化させる計画です。

大坊取締役は「経営者の高齢化が進み、素泊まりなら対応できるペンションもある。既存の宿泊施設と共栄共存し、相乗効果を生み出したい。また、メイズをきっかけに温泉郷を回遊する人が増えれば、飲食店やレジャー施設などが生まれる。温泉郷全体でにぎわいを創出していきたい」と意気込みました。

# 話題 ピックアップ

## まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。  
企画財政課広報広聴係(☎・内線1203)



テラス側から岩手山の眺望が楽しめます(外観イメージ)



先輩から受け継がれてきた曲「花になれ」を全校で合唱

## ピースつなげー丸で表現

### 西鈴祭で一中のまとまりを存分に発揮

西根一中(熊谷治久<sup>はるひさ</sup>校長、生徒86人)は10月31日、文化祭に当たる西鈴祭を開き、一体感のある演劇や合唱などを披露し、観衆を引き付けました。

同祭に併せて予定していた創立60周年記念式典は中止。消毒の徹底や来場者に制限をかけるなど、新型コロナウイルス<sup>あかり</sup>の感染拡大に配慮し、開催しました。生徒会長の吉田星<sup>あかり</sup>さんは「例年通りにはいかなかったが、そんな中でもみんなで一生懸命取り組み、思い出に残る西鈴祭をつくれてよかった」と笑みを浮かべました。



荒屋地区振興協議会が地域づくり一括交付金を利用し、桜松公園の案内看板を改修しました(10月)



東京オリンピック聖火リレー Torchの巡回展示が行われた市芸術祭(10月31日、西根地区市民センター)



市シルバー人材センターの会員が奉仕活動として北森駅やフーガの広場を清掃(10月28日、北森駅)